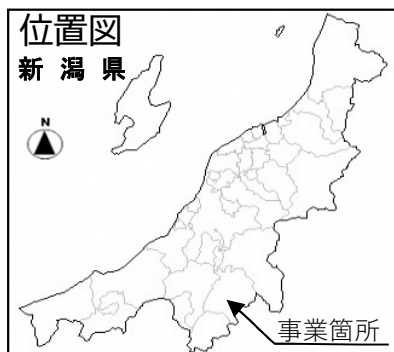


51 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

国道17号とのダブルネットワーク整備の事例（南魚沼市 一般国道291号）



市街地を迂回する
ルートへ交通を転
換することで道路
ネットワークの機能
を強化

対策前



旧一般国道291号では、市街地で車両の慢性的な渋滞が発生していたため、一般国道17号のダブルネットワークとしての機能が十分に発揮されていませんでした。

対策後



市街地部を迂回したバイパス整備を実施することで、一般国道17号のダブルネットワークとしての機能強化を図ることができました。

○対策の効果

■一般国道291号南魚沼市西泉田地先では、一般国道291号が一般国道17号のダブルネットワークとしての役割を担う必要があるにもかかわらず、市街地において通勤や物流の車両による慢性的な渋滞が発生するなど、道路ネットワークの機能不全が生じる状況となっていました。

そのため、平成28年度より道路改良（バイパス整備）を実施してきており、更に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により道路改良を推進させ、令和4年度のバイパス供用に伴い道路ネットワークの機能強化を図ることができました。